

令和6年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和7年3月31日時点)

施設名	港区立北青山高齢者在宅サービスセンター						
指定管理者	社会福祉法人東京聖労院						
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 9 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	○	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	—
施設所管課	保健福祉支援部高齢者支援課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	10	10	0	8	2	6		18
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度		備 考	
正規・非正規職員の退職者数	2	2	1					

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	備 考
延利用者数（人）	7,066	8,864	9,317			

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和 年度	令和 年度	備 考
経費実績	収入	125,419,866	154,755,811	161,607,180	0	0	
	指定管理料（清算後）	57,345,332	57,087,365	59,227,002			
	利用料金収入	67,678,386	97,367,626	102,076,898			
	その他収入	396,148	300,820	303,280			
	支出	155,749,785	153,101,014	160,799,593	0	0	
	職員人件費	86,435,279	84,422,285	90,132,750			
	光熱水費	10,310,557	7,018,962	8,836,837			
	修繕費	3,851,083	3,901,557	2,246,750			
	事業運営費	15,077,898	18,712,591	14,494,455			
	施設管理経費	18,304,600	28,343,313	27,997,934			
	その他経費	21,770,368	10,702,306	17,090,867			
	差引収支額	-30,329,919	1,654,797	807,587	0	0	
年度協定書で定める指定管理料		62,759,412	59,285,356	59,608,267			

5 管理運営状況に対する評価

項 目		評価視点	指定管理者 による評価	区による評価		
				評価	加算	点数
【施設の 維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者に声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	5 / 5	×5	25 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2	10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	5 / 5	×3	15 / 15
区による評価合計点						100 / 100

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	前年度からの改善点として、令和6年度稼働率は、通所介護76.3%認知通所38.8%となり、前年度より多くの区民の方に利用してもらうことができました。利用登録人数については、通所介護で21名の増加となりました。 充実した取組として、通所介護の利用者の中で要介護3以上の方の全体に対する割合が45%を超えることができたことで、より中重度のご利用者を積極的に受けることとなりました。 更なる改善が必要な課題と今後の改善策として、認知通所の稼働率については、ほぼ前年から改善が見られなかったと考えています。令和6年度に行った認知通所の取組としては、音楽療法や珈琲セラピーなどのプログラムを導入しましたが、まだ効果が出ていない状況です。今後も認知通所に魅力あるプログラムを導入し積極的に外部発信を行っていきます。
区（施設所管課）による評価	前年度からの改善点として、全体的に稼働率が上がり、より多くの区民の方にご利用いただいたことは評価できます。ただし、認知通所の稼働率については、ほぼ前年度から改善が見られなかったことから、今後の改善策としては、令和6年度に導入した音楽療法や珈琲セラピーの検証を行い、加えて、今後も魅力あるプログラムを導入する必要があるとあります。SNS等を利用した地域への発信を積極的に行い、稼働率の向上に努め、認知症に対する早期対応を進める必要があります。 また、要介護3以上の方の利用割合が45%を超えており、中重度の方も積極的に受け入れていることは評価できます。

6 評価

令和5年度の管理運営に関する総合評価

S

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）